

2018 年度 A セメスター経済Ⅱ（竹野）試験問題

2018 年度文一・二 7 組 A.K.

初めに

この過去問は竹野教官の 2018 年度 A セメスター経済Ⅱの期末試験の問題です。試験時間は 80 分、問題用紙と解答用紙が一体になった紙と計算用紙 1 枚が配布される形式でした。問題数は 10 問。試験問題は回収されることが通例で作成者も試験時間中に計算用紙に急いで書き写したので、問題文を一言一句正確に再現したことではないことにご注意ください（でも題意はちゃんと伝えられていると思う）。なお、2017 年度に比べ大幅に易化していたとの情報を付記しておきます。

1. 完全競争が成立する 5 つの条件を答えなさい。
2. 選好関係の「完備性」とは何か説明しなさい。また、あわせて「完備性」が満たされない場合どのような不都合が生じるか答えなさい。
3. 効用関数が $\min[x_1, x_2]$ のような 2 財の例を一つ理由も挙げて説明しなさい。また、無差別曲線も図示しなさい。
4. 予算線と無差別曲線が「交わる」ような点はなぜ最適消費計画といえないのか説明せよ。
5. 限界生産性の逡減と限界費用の逡増が等しいことを経済学を学んだことのない高校生にもわかるように説明しなさい。
6. $u(x_1, x_2)$, $w = p_1 x_1 + p_2 x_2$ のとき

$$\frac{du/dx_1}{p_1} = \frac{du/dx_2}{p_2} \text{ の意味について説明しなさい。}$$

7. 異時点間貿易において、

$$u(c_1) + \beta u(c_2) \text{ の最大化を } c_1 + \frac{1}{1+r} c_2 = Y_1 + \frac{1}{1+r} Y_2 \text{ という条件の下行う。}$$

β が限りなく 1 に近いとき、この消費者の「待つことへの選好」はどういえるか？

8. 厚生経済学の第二基本定理の意味について説明しなさい。その際、Edgeworth box と契約曲線も示しなさい。

9. 完全競争が望ましいと考えられる均衡の特性を 3 つ挙げなさい。

10.

	Left	Center	Right
Top	(0,6)	(6,6) \leftarrow (6,0)かも メモが汚くて判読 できず	(3,2)
Middle	(6,0)	(7,2)	(5,1)
Bottom	(3,3)	(4,1)	(3,6)

(1)支配戦略均衡は？存在しないなら、存在しないと答えよ。

(2)Nash 均衡は？存在しないなら存在しないと答えよ。

以上